

令和元年のテングサ作柄について

伊豆分場では、伊豆半島のテングサの作柄を予察するために、平成31年3月中旬から4月中旬にかけて、稲取地区から八木沢地区の計13地区、32箇所ですでにテングサの生育状況を調査しました。調査は、潜水によりテングサの着生面積・密度を観察し、各漁場内の平均的と思われる場所1㎡のテングサ重量と平均藻長の測定を行いました。各地区のテングサ生育状況は以下のとおりです。また、漁場毎の着生量と平均藻長を表1に示しました。

- 稲 取**：(平成31年：平均着生量1,100g、平均藻長16.5cm 平成30年：800g、16.7cm) 着生量は前年よりやや増加しているが、雑海藻が多く着生範囲は広くない。雑藻刈りをした漁場ではホンダワラ類が少ない。前年並み～増と予想される。
- 谷 津**：(平成31年：1,600g、26.1cm 平成30年：1,700g、21.4cm) 着生量は前年並みで、水深10m前後の深所に着生している。前年並みと予想される。
- 白 浜**：(平成31年：1,550g、16.7cm 平成30年：1,800g、19.6cm) 釜の下を除いて、着生量は前年よりやや増加しているが、着生密度の濃淡が大きい。前年並みと予想される。若干アオが見られる。
- 外 浦**：(平成31年：2,200g、19.2cm 平成30年：1,750g、20.1cm) 着生量は前年よりやや増加しているが、テングサ以外の雑海藻が多い。前年並みと予想される。
- 須 崎**：(平成31年：1,300g、19.7cm 平成30年：1,065g、14.8cm) 着生量、藻長ともに前年よりやや増加しているが、着生範囲は広くない。前年並みと予想される。
- 下 流**：(平成31年：1,520g、19.1m 平成30年：1,670g、18.0cm) 着生量は前年並み～やや減少しており、雑海藻が多く着生範囲は広くない。前年並みと予想される。
- 伊 浜**：(平成31年：950g、11.1cm 平成30年：1,180g、11.1cm) 大久保では、着生量が大きく減少している。石灰藻が多く、テングサの着生範囲は狭い。前年よりも減と予想される。
- 雲 見**：(平成31年：220g、8.8cm 平成30年：830g、11.0cm) 着生量、藻長ともに前年を下回っている。水深10m程度の深所に着生しているが範囲は狭い。前年よりも減と予想される。

- 岩地**：(平成31年：880g、10.0cm 平成30年：610g、8.6cm) 着生量は前年並み～やや増加しているが、着生範囲は狭い。オバクサが多く、マクサは少ない。前年並みと予想される。
- 仁科**：(平成31年：1,104g、10.1cm 平成30年：1,406g、10.5cm) 着生量が減少した漁場が多い。着生範囲も狭く、オバクサの着生が多い。前年よりも減と予想される。
- 田子**：田子：(平成31年：1,178g、15.4cm 平成30年：1,950g、12.6cm) オヤマ合せでは、着生量はやや減少したが漁場の広がりはある。他の漁場では、着生量は減少し漁場の広がりもない。前年よりも減と予想される。
- 小下田**：(平成31年：1,883g、10.0cm 平成30年：2,067g、10.2cm) 着生量は前年よりやや減少している。オバクサの着生が多く、小峰と町田ではほとんどがオバクサである。前年よりも減と予想される。
- 八木沢**：(平成31年：1,100g、10.7cm 平成30年：1,320g、9.4cm) 着生量はやや減少している。オバクサの着生が多い。前年よりも減と予想される。
- 全域でテングサ以外の雑藻（カジメ、ホンダワラ類、有節サンゴモ等）が目立つ漁場が多く見られました。

以上の結果から、令和元年のテングサ作柄を以下のように予察しました。

「下田から南伊豆地区（下流）では前年並み、南伊豆地区（伊浜）から土肥地区では減、県全体としては減と予想される。」

表 1 テングサ作柄調査結果

地区	漁場名	平成 31 年			平成 30 年			令和元年 作柄予察 (前年対比)
		着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	
稲取	沢尻	900	18.0	5.8	520	16.3	4.8	並～増
	造船場下	1,360	13.6	7.1	1,140	17.2	6.3	
	見高境	1,040	17.8	9.9	740	16.5	9.1	
谷津	ハツロウ	1,600	26.1	9.2	1,700	21.4	10.1	並*
白浜	釜の下	200	10.0	5.8	1,950	21.3	5.8	並
	板見増殖場	2,000	17.2	8.6	1,650	17.8	7.8	
	八代	2,450	22.8	4.5	1,800	19.6	4.7	
外浦	釜の浦	2,200	19.2	5.0	1,750	20.1	6.0	並
須崎	イケンダ	1,580	16.8	4.1	1,480	14.8	3.7	並
	中間	1,020	22.5	4.1	650	14.7	4.5	
下流	オヨジマ	2,400	24.4	4.7	1,900	17.2	3.5	並
	二つ根岡側	640	13.7	4.2	1,440	18.7	5.0	
伊浜	大久保	580	12.2	6.3	1,460	9.9	5.9	減**
	瀬尻*	1,320	9.9	4.2	—	—	—	
	タカンバ下*	—	—	—	900	12.3	8.1	
雲見	島内	300	10.4	8.3	770	10.7	9.0	減**
	イガミ島*	220	8.1	7.2	—	—	—	
	ミツイシ沖*	140	8.0	10.5	—	—	—	
	万山下*	—	—	—	1,020	10.0	5.2	
	大穴*	—	—	—	700	12.3	10.7	
岩地	ハギヤ浜	1,280	11.4	1.8	750	9.2	2.9	並
	ノウガハマ	480	8.5	3.2	470	7.9	3.0	
仁科	浮島(ショウジ)	1,480	13.8	4.8	1,120	12.4	6.0	減
	浮島(段)	1,200	11.6	2.3	1,800	13.9	4.2	
	南浜場	1,120	9.1	4.8	1,110	8.3	3.5	
	セバマ裏	960	7.6	4.0	1,300	8.8	5.4	
	セバマ	760	8.5	2.4	1,700	9.1	2.3	
田子	シケンバ	830	16.2	7.9	1,100	9.1	5.4	減
	二ノ浦	1,200	13.5	1.1	1,800	12.0	3.2	
	オヤマ合せ	2,100	20.9	9.8	2,900	18.7	8.3	
	弁天	580	10.9	2.2	2,000	10.7	2.5	
小下田	小峰	2,300	10.0	5.9	2,100	10.5	3.8	減
	穴口	1,400	9.8	4.1	1,700	8.0	5.1	
	町田	1,950	9.4	5.4	2,400	12.2	4.3	
八木沢	丸山	1,100	10.7	2.5	1,320	9.4	3.2	減

* 地区の要望により調査地点を変更したためデータなし

** 地区の作柄予察（前年対比）には調査地点の平均値を使用

(鈴木聡志)